

日本洋書協会会報

Vol. 33 No. 12 (通巻391号) 1999年12月

理事会報告

11月18日(木)

以下の提案を承認した。

1. 2000年定時総会を5月19日に旅行会を兼ねて開催する。(総務委員会)
2. 新年賀詞交換会に東京国際ブックフェア主催団体の代表者を招待する。(広報渉外委員会)

以下の報告を了承した。

1. 東京国際ブックフェア「オランダ年」ブースの運営は協会が主体となるが、書籍の出展・販売は丸善(株)に委託する。(事業委員会)
2. 協会ホームページ開設に当たり、当面する主として技術的な諸問題について更に検討を重ねる。(ダイレクター委員会)
3. 第2次入会勧誘候補を選定した。明年1月中旬に理事会の承認を得て勧誘活動に入る。(会員増強委員会)
4. 共同物流へ9社より参加意志表明があったので、各社別コスト見積りのための輸入データ提供を要請した。(事務局)

海外ニュース

STM 出版社のデータ・リンク・サービス

世界の大手出版社数社が、各社のレファレンスをリンクさせて、インターネット上の検索アクセスを飛躍的に向上させたサービスを共同開発する。ユーザーは、雑誌記事から引用文まで簡単にアクセスでき、しかもそれは

異なったサーバ上のデータであるとか、異なった出版社から刊行されたものであるとかを問わないのだ。来年4月からは、300万件以上の事項が「一回のクリック」で提供されることになる。各出版社はそれぞれのアクセス基準を設定し、このリンクから検索しようとする研究者にどの情報を提供するかを決定し、コンテンツの著作権所持者は、アクセス料をサブスクリプション・ベース(定期講読支払)かペイパービュー(閲覧する毎の支払)のどちらにするかを決定する。このサービスは、WILEYとACADEMIC PRESSが開発したプロトタイプをベースにしており、電子的テキストの認識および認定のためには、最近施行されたDigital Object Identifier(DOI)を利用している。このサービスは、選ばれた役員により非営利ベースで管理され、International DOI Foundationの協力のもとに運営される。常に新規参入する出版社に門戸を開放しており、年に50万件程度のテキストが増加されることを期待している。この共同サービスには、ACADEMIC PRESS, THE AMERICAN ASSOCIATION FOR THE ADVANCEMENT OF SCIENCE(Science誌の発行元)、BLACKWELL SCIENCE, ELSEVIER SCIENCE, KLUWER ACADEMIC PUBLISHERS, THE NATURE PUBLISHING GROUP, OXFORD UNIVERSITY PRESS, SPRINGER-VERLAG、そしてJOHN WILEY & SONSなどといった出版各社が参加している。

THE BOOKSELLER/NOVEMBER 26, 1999
PUBLISHERS WEEKLY/NOVEMBER 29, 1999

目次

理事会報告・海外ニュース	1	出版文化史遺譚(4)	3	2000年度主要国際書籍展一覽	7
うちの会社・お知らせ	2	曙	4・5	広告	8
		新・パソコン外論考(其3)	6		

うちの会社

ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社

英国系出版社数社の日本代表事務所として、1957年神田美土代町に十坪足らずの showroom を開設、業務を開始して以来四十年余りが経過しました。1960-80年代特に顕著であった大学の新增設ラッシュと相俟って急増した外国専門書の需要は、小社業績の今日に至る順調な伸長の一大要因となりました。創業時代にお取引を頂いた書店は十社余でしたが、現在取引書店数は二百余社に及び、洋書市場規模も過去四半世紀急速に拡大しました。

小社が代表する出版社群は、既に定評のある人文、社会科学関連書に加え、美術、建築、デザイン分野の外、ケムブリッジ大学出版局の ELT 関連商品、特定版元との特別共同企画出版物、そして最近小社グループへ参入した著名な科学技術専門出版社で構成され、豊富な在庫商品を保持、鋭意販売促進活動を展開させ

東京都千代田区神田駿河台 2-9 研究社ビル
Tel : 03-3291-4541 Fax : 03-3293-3484

て頂いて居ります。

小社は、その社名に加えて居ります「サービス」の真髓が何たるかを常に意して業務に当っては居りませんが、その実行に当りましては更なる努力の必要を痛感して居ります。

昨今、広汎な科学、学術の分野で研究者が求める情報源は、printed form から electronic データ資料に及び、後者の多様化が進んでおります。然しながら、存在する国内での学術文献書籍の需要は、依然として膨大な量にのぼる現実があります。小社は代表する出版社群の活力溢れる出版活動に応えるべく、業界各社のご協力を仰ぎ、六十名余の社員共々真剣に社業に取り組んで居ります。

変わらぬご支援を重ねてお願い申し上げる次第です。

齋藤純生

お知らせ

事務所を移転しました

会員名：ユサコ株式会社

新住所：〒106-0044 東京都港区東麻布 2-17-12

TEL:03-3505-6161 (役員・総務・経理)

03-3505-3256 (東京営業所)

03-3505-3257 (電子メディアG)

03-3505-3258 (システムG)

03-3505-3259 (輸入業務G)

FAX:03-3505-6281 (役員・総務・経理)

03-3505-6282 (東京営業所)

03-3505-6283 (電子メディア・システムG)

03-3505-6284 (輸入業務G)

業務開始日：1999年12月24日

訂正

1999年版ダイレクトリー名簿中に誤りがありました。

(P. 8)

会員名：(株) エル・ダブリュ・ダブリュ医学書院

(掲載名：(株) 医学書院エムワイダブリュ)

正：FAX 03-5689-5402

誤：FAX 03-5689-5401

ご迷惑をおかけしました。お詫びして訂正します。

(ダイレクトリー委員会)

明治初期の目録に見る洋書〔13〕

丸善・本の図書館 鈴木陽二

◆明治16年洋書目録に見る輸入の状況(4)

明治16年目録には、丸善蔵版(発兌書を含む)の英文出版物も収録されている。丸善の英文出版物は、明治18年頃から急速に増加するが、明治16年までも、発兌書を含めると、10点ほど刊行されている。ここで、丸善の初期英文出版物について簡単に紹介しておきたい。

丸善は創業早々から出版を手掛けており、最初の出版物は、『解体新書』の翻訳で著名な杉田玄白の継嗣となり幕末明治初期の蘭方医として名を成した杉田玄端(玄瑞)の訳書『健全学』(版木の制作は慶応3年、出版年不明)か、あるいは明治3年発兌の桑田衡平訳『袖珍薬説』であった。両書とも医学系であるが、創草期の丸善出版物は医学書の翻訳が多く、明治初期の第一級の医学者であった桑田衡平や松山棟庵、また小林義直などによる翻訳医書が多数刊行された。

さて、丸善の最初の英文出版物は、明治9年に刊行された“The Code Napoleon or the French Civil Code”である。この「ナポレオン法典(民法)」はナポレオン皇帝によって制定された5法典のうち1804年に施行された民法を英訳したものである。英訳はロンドン「法曹学院」の一部門である“THE INNER TEMPLE”所属の弁護士によって行われたもので、丸善版はその復刻である。ナポレオン法典は幕末にはすでに日本人に知られていた。幕府の外国奉行兼箱館奉行の栗本安芸守(鋤雲)は1867(慶応3年)に親仏政策推進のため全権公使を命じられて渡仏したが、その折ナポレオン法典を知り、フランスの社会と政体を見事に支えているのが同法典であることを理解し、その「空前絶後の新定律」に魅せられて日本への導入を試みた。そして、子息の貞次郎に命じ、メルメ・ド・カションとフルーリー・エラルに援助を求めて翻訳を計画した。カションは宣教師として来日し、のちフランス総領事や公使の通訳を務め、また横浜仏語学校を設立するなど、フランス文化の紹介に貢献した。またエラルはパリの富豪銀行家で大の親日家であった関係で、日本が初めて海外に持った領事館であるフランス総領事の事務取扱者に任命した人物である。しかし同書の翻訳については、幕府が瓦解し

て明治維新を迎えた時期でもあり、そういう変革の混乱のなかで実際に行われたどうか不明で、おそらく途中で挫折したのではないかといわれている。いずれにしても、日本の法体系に大きな影響を与えたナポレオン法典を、初めて日本に紹介したその功績は高く評価される。実際にナポレオン法典の翻訳を手掛けたのは、参議副島種臣に命じられた箕作麟祥で、明治2年に刑法典から着手した。明治3年には、副島の後を受けた江藤新平がいち早く太政官制度局に民法会議を設けて民法の編纂を開始したが、箕作が2〜3枚訳すと江藤がすぐにそれを持って行って会議にかけるといふ状態であったという。日本の民法編纂がフランス法を基盤にしながら進められたのは、幕末からナポレオン法典を既知していたことと、同法典が成文法として世界各国に影響を与えた優れた体系を有していたことなどで、幕末からの不平等条約改正の前提条件として近代的な法体制の整備が急がれていた中でもっとも模範とするにふさわしい法律であった。そのため、法制関係のお雇い外国人もアルベール・シャルル・ジュ・ブスケ(幕府の軍事教官として来日し、のち左院でフランス法の和訳に従事)、ジョルジュ・ブスケ(司法省顧問)、グスタヴ・エミール・ボワソナード(司法省顧問として民法典編纂と法学教育に従事)などフランス人を招聘して法体制の整備を進めた。

箕作麟祥が『ナポレオン法典』の全訳を完了したのは明治7年であり、その偉業は民法・刑法典に限らず憲法・商法典・治罪法典・訴訟法典と全40巻(和装本)に及び、『仏蘭西法律書』として刊行された。民法編纂の状況は、左院の民法草案が明治6年、司法省の草案が明治11年に成案を得ている。そういう時代背景のなかで丸善が明治9年に『ナポレオン法典』を復刻刊行したのは、時宜を得た出版であったといえるであろう。時代からみて当然需要も多かったものと思うが、それにしても時世を見る目の確かさと先駆的な事業センスに敬服できる。

〔参照文献：栗本鋤雲『暁窓追録』／中田薫「佛蘭西法輸入の先駆」『法制史論集』第三巻下／向井健「民法典の編纂」福島正夫『日本近代法体制の形成』下巻／梅溪昇『お雇い外国人—政治・法制』〕

曙

島岡 丘

「曙」という字を見ると、多くの相撲ファンはあの大きなハワイ出身の横綱を思い浮かべるだろう。しかし、その一昔前なら、おそらく、清少納言の『枕の草紙』にある、「春はあけぼの」の一節を思い起こされるだろう。日本語の「は」という主語を示す助詞のおかげで、述語動詞を並べずに短く表現できるので、記憶しやすい文になる。掛け算でも「2・2が4」、「2・3が6…」のように表現できるので、九九が覚えやすい。

私は曙のイメージが好きである。そのわけは、高校時代に山岳部で北海道の宗谷山脈に際立つ海拔1500メートルほどの暑寒別岳に登ったときのことを思い出すからである。そのときは、頂上付近で夜中になってしまい、野宿をすることになった。強風が吹きとでも寒かったが、ベテランのリーダーから互いに背中合わせで一晩を過ごすように指示をうけ、そのようにすると、互いの体温で不思議に暖かみを感じた。うとうとしているうちに東の空が白みはじめ、雲の隙間から黄金色の光線が何本も現れ、天を突き刺し始めると、長かった暗い夜がうそのように終わる。そのコントラスト思い出すたびに、ハムレットの第一幕の一節が自然に出てくる。

But, look, the morn in russet mantle clad,
Walks o'er the dew of you high eastward eastward hill;

(おおあの空、朝日が、茜色の被衣をひろげ、霧を踏みしめながら東の尾根を越えてくる[福田恒存訳])

曙から日の出にかけてのすばらしさを日本の社会に当てはめるならば、この二三年は、ちょうど先の見えない暗闇にいるような感じで、ものが売れない、利息も増えない、増えるのは会社の赤字ほか、人災や犯罪ばかりという状態であった。日本は安全で清潔な国というイメージが曇り始めている。このようなときに一つでも明るいニュースがあると、それがきっかけとなって、暗い気持ちもいずこへか行ってしまうと、体中に力が漲り、「栄光よ、再び訪れる！」という気持ちになる。

明るいニュースといえば、小学館プロダクション制作のポケモンやピカチュウがアメリカのアニメキャラクターの世界で人気No.1になったことやMinamata Diseaseで世界に伝えられた水俣市が今やゴミも出さない

模範的な環境都市となり、語り部などの力も加わり、修学旅行や観光客などが数多く訪れるように様変わりしたことなどがある。

日経11月22日の「春秋」には新しく生まれ変わった水俣のことが書かれていたが、そこには「ミナマタはマイナスイメージだが世界に知られた“ブランド”この唯一つの資産を活用し、環境モデル都市として変身していく」とあった。かってケネディ大統領が就任演説で、最大の危機に居合わせたことを歴史上の好機として歓迎するという趣旨のことを述べ、逆境をよい方向にもたらそうとした。名文なので引用しておこう。

In the long history of the world, only a few generations have been granted the role of defending freedom in the hour of maximum danger. I do not shrink from this responsibility. I welcome it. (世界の長い歴史において、最大の危機の時に、自由を守るという役割を与えられた世代はごく僅かしかなかった。私はこの責任から逃れようとしな。いや歓迎する。)

ともかく、一度しかないわれわれの人生を、ケネディ大統領が示したように希望をもって積極的に生きていくのはよいことではないかと思う。

新聞などで、いじめや学級崩壊などの姿が描き出されているが、そのような中から、醜い姿と望ましい姿の対照が明らかになり、将来の行動をとる際の判断力が養われるという面もないわけではないようだ。イギリスのプブリックスクールは全寮制度で上級生が下級生を虐めることでよく知られているが、上級生の靴磨き、使い走りなどを下級生がやらされて、悔しさ、我慢、辛抱などを体験する。そのようないやな体験を味わったイギリス人は辛抱心ができ、大人になって、世界の慣れない土地に行っても我慢できるのだと、偶然一緒にギリシアを旅行したイギリスの青年が話してくれたことがあった。

日本にも「かわいい子には旅をさせよ」という諺がある。イギリスでも昔貴族の子弟は「グランドツアー」という慣習があり、今でもその伝統が残っているようだ。それは1年ほど海外の恵まれない国に、ボランティアとして送り出す。私のイギリス人の友達はレディング大学の言語学科長をしていたが、かわいいお嬢さんをエチオピアにボランティアとして送り出した。娘さんのことが不安でないのか尋ねたところ、ボランティアの組織がしっかりしているので、心配はないとのこと、むしろ一年

して帰ってきたとき、どんなに遅い女性になっているか今から楽しみにしているという返事だった。

元気の源はなんだろうか。自分の好きなチームが負けると意気消沈するという人がいる。私もそうかもしれない。しかし、また勝つチャンスがあるということで、気持ちを直して、応援するわけである。常勝ということはほとんどあり得ない。ベストを尽くして負けたのなら諦めつく。元気の源は悔しさを味わせるであるような気がする。

ある小学校の運動会では競走をさせずに全員一位のような指導がされているということらしいが、それでは感情の起伏が無くなってしまわないだろうか。世間では大学卒の就職状況があまりよくないが、しかし、「よい人材は引く手あまたである」ということがどんな時代にも通じる。

10月、11月は学会や研究大会のシーズンである。ほとんど毎週のように専門分野の人たちが会場に集まり、招待客の基調講演や新しい研究発表などに耳を傾ける。前から比べると、一般に国際性が高まる傾向が見られる。使用言語は日本語と英語であるが、英語の使用が前と較べると多くなっているようだ。日本人の学術用語としての英語表現力は年々向上しつつあるように思う。日本語だけでなく、英語を通して、新しい価値観やこれまでの常識の見直しなどが大胆に発表されることは聞いていて気持ちがいい。

日本人が英語下手であると言われると、すぐに思い出すのはロス空港で出会った日本人とロスのウェストウッドの書店で買い物している日本人である。空港で降りたその日本の女性はタクシーに乗ろうとしてうろうろしていたところ、タクシードライバーが Are you by yourself? と親切に聞いたのであるが、その英語が分からないのである。by oneself がイディオムで「一人で」という意味であることを知らなかったのか、英語の強弱の差が強いため、Are you by までの語句が一つにつながっているために分からなかったのかのいずれかであるか、あるいは英語の学習が文字列を日本語に置き換えることばかりをやっていたのだろうか。たとえ分からなくても Downtown, please, とか Downtown hotel とか言えそうなものだが、ともかく「問いに対しては答えねばならない」というエチケットもできていなかったのは残念である。また、数人がシャトルバスに乗ったのであるが、ドライバーが、Where to? と二三度繰り返して

聞いているのに、黙って目をキョロキョロしているのはどういう心境なのだろうか。「外国人は何を言うか分からない」とでも思っているのかもしれない。ドライバーは「乗客の行き先だけに神経を使う」ということすら分からずに旅行に出かけるというのは、むしろ勇気があると解釈すべきなのだろうか。私が偶然隣り合わせたアメリカの女性は「人間同士みな共通の感情を持っており、互いに分かち合うことによって人生を楽しくしあえる」と考えているようで、添乗員にも周りの乗客にも旧知の間柄のようにリラックスして話しかけていたのといふ対照だった。あとで分かったことだが、この女性は文化人類学の専門家で、私の親しい友人宅に宿泊していた。

映画街で有名なウェストウッドの書店で出会った日本からの観光客は「トラベラーズチェック」で払っていいかを店主に聞いているのであるが、声が小さい上に tra- の発音が「トラー」となるために相手に通じない。相手は driver's license? と聞き返した。むしろ、tra- のところを「チュエア」と言えば少なくとも通じる発音になったはずである。私が近似カナ表記を提唱したのは発音記号が読めず、通じさせることに苦慮している人たちのためでもある。

英語がもはや外国語でなく、日本語を知らない人との交流になくってはならない言語となった。英語の学習は先生に音頭をとってもらって Listen and repeat の学習活動だけではなく、学習者自らの意志で英語を自分のものとしなければならない時代となっている。文部省の新しい指導要領では、生きる力をもつこと及び自己教育力を強調している。英語という言語は音節によって強弱の差を甚だ大きくして強勢拍子のリズムをもっており、また子音を連続させたり、子音+母音の後にさらに子音をつけたり、さらに、子音の数を3つも4つも連続させたりする言語である。強弱リズム、発音記号、発音記号を支援するカナ表記の3つの道具を揃えて1つの語句でも、また1つ文でも学習者が納得いくまで各自が習得する気持ちが出てくると、日本の英語教育がようやく曙になったと言えるようになるだろう。ただし、やる気だけでは不十分で、円唇音や舌先音など体系的なドリルが不可欠である。

(茨城キリスト教大学教授)

新・パソコン外論考 (其3)

宇田川一彦 Udagawa Kazuhiko

◆Nice Work if you can get it/うまくいったら・・・。

子曰、君子不器、

The Master said, "The gentleman is no vessel."

(論語/為政・Confucius; The Analects/Book II)

〔超拙意識；先生は言われた。紳士は、ある特定の用途にしか使えない器であってはいけないよ。すなわち、単なる「専門家」であってはならないということだよ〕

〔外注；すべての機器というものは、その用途のためだけに有効です。たとえば、船は航海には可だが、山には登れない。車は、陸では可だが、海では使用不可能（現在はできるものもありますが、空飛ぶ車さえありますから。出典は、梁の皇侃（おうがん）＝義疎（ぎそ）からです〕

■ノートパソコン実践の使用記その-1-

ノートパソコン（以下 Note-PC と略記）LaVieNX に、preinstall されています OS の Windows98 (Win 98) が立ち上がってきました。起動時間+起動時間は、電源 ON から BIOS チェックまで 26 秒 88、そして Win98 のメッセージから、いろいろなソフトウェアをバシャバシャと HD (Hard-Disk) を読みながら Windows 上にお店を広げて（使用可能状態になること＝常駐）、Noto-PC 使用可能になるまでの、1 分 42 秒 61。ただ、ある時は 1 分 51 秒、ってなことも……。

起動時に立ち上がるソフトウェアの数を、減らせばもう少し速くなると思われます。が、起動時間が半分とか、3 分の 1 にはならないと勝手に想像しています。

で、適当に windows マークが付いた key、ALT キー、無変換キー、Fn キー (Function キー)、F1 とかを同時に押し遊んでいたところ、何と何のキーを押したのかも定かでない状態で、突然 Win98 が、freeze しました。すなわち、freeze＝凍りつく、米国産の映画ですと、ピストル強盗が連発します「動くな！」です。かつては、マシンがこの状態になったときは、lock-up とか hanged とか表現していました。日本標準パソコン語で言えば、「死んだ」です。〔この freeze 状態は、筆者のミスで、マシン、OS とは無関係です。念為。〕

で、この「凍りついた状況」から、脱出する方がたいへんでした。

●通常は、[Ctrl]+[Alt]+[Del] キーを同時に押せば reboot されるのですが、今回は freeze のママでした。

愛用のデスクトップマシンですと、reset (リセット) ボタンは、どこにあるか熟知しているのですが……。なお、老婆(爺)心ながら、英語圏では reset よりも reboot＝再起動の方が通じます。

そこで、同梱マニュアル10数冊（平均160頁）の中から、「活用ガイド・ハードウェア編」を取り出し、探せども該当項目なし。ただ、本編トップページのキーボード名称や Noto-PC の入出力ポート (Input-Output Port＝プリンターなどの接続口) の位置確認は「必見・必須」です。

で、件の reboot スイッチは、同梱マニュアルの「困ったときの O&A」の 34 ページに記載されていました。

●な、なんと「電源ボタンを4秒以上押す」と reboot されます。これは驚きでした。各メーカーともこの reboot ボタンは『誤操作』されないために「目立ず」「押しにくい」ところにあります。筆者も、この Noto-PC を裏返しして、どこか小さな穴が空いてないかとか探しました。CD-ROM 用 Emergency-Hole は、見つけたのですが……。

〔IBM の ThinkPad 系は背面の I-O ポートの間に小さなスイッチ、Sony-VAIO 系は、底面に小さな穴が reboot スイッチになっています〕

Note-PC の LaViNX には、bundle (=一括販売) といいますが pre-install (=どっかと腰をすえた/据え付けられた、事前に組み込まれている application suite (=ひと揃いになったソフト) として、Microsoft Office2000 [Word/Excel・Outlook＝スケジュール管理・MS/Shogakukan/Bookshelf Basic (CD-ROM 添付)] と一太郎 10・花子 10・バック [一太郎・花子＝図形ソフト・三四郎・ATOK13・VoiceATOK3・Sasuke・電子辞書ライブラリ (CD-ROM 添付)] の 2 パターンがあります。いずれを選ぶかは好みの問題です。筆者は、図形ソフトの分だけ一太郎の方が point が高いように思いましたが。この他にも、インターネット/パソコン通信用ソフト、駅すばあと＝交通情報検索ソフト [これは超便利!]、筆王 (平成12年版)＝はがき作成ソフトなどが初手から組み込まれています。

ということで、Noto-PC は、デスクトップよりも割高と思っておりましたが、pre-install ソフト+デスクトップ並の機能性を考えますとそうでもないことを実感。次号では、便利な short-cut キーやプリンターに関して考えてみたいと思っています。(乞御期待)

2000 年度主要国際書籍展一覽

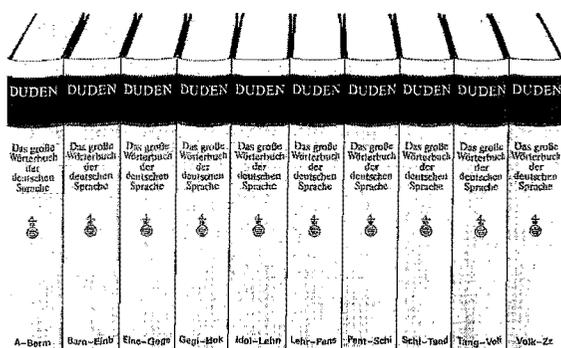
書籍展名	開催期日	開催地	連絡先 FAX
<i>MILIA</i>	2/15-2/18	<i>Cannes</i>	33 1 41904409
<i>Taipei International Book Exhibition</i>	2/16-2/21	<i>Taipei</i>	886 2 2653 4145
<i>EXPOLANGUES</i>	2/23-/2/27	<i>Paris</i>	33 1 41 904769
<i>AAS (Ass. for Asian Studies)</i>	3/9-3/12	<i>SanDiego</i>	313 665 3801
<i>Salon du Livre Paris</i>	3/17-3/21	<i>Paris</i>	33 1 41904769
<i>London International Book Fair</i>	3/19-3/21	<i>London</i>	181 940 2171
<i>Leipzig Book Fair</i>	3/23-3/26	<i>Leipzig</i>	341 6788242
<i>Bologna Children's Book Fair</i>	3/29-4/1	<i>Bologna</i>	39 51282332
<i>Tokyo International Book Fair</i>	4/20-4/23	<i>Tokyo</i>	3 3345 7929
<i>Asia International Book Fair</i>	4/26-4/28	<i>Singapore</i>	65 334 4632
<i>Warsaw International Book Fair</i>	5/18-5/22	<i>Warsaw</i>	22 828 1057
<i>Book Expo America</i>	6/2-6/4	<i>Chicago</i>	203 840 9614
<i>Seoul International Book Fair</i>	6/2-6/7	<i>Seoul</i>	82 2 7385414
<i>Special Libraly Ass. Book Exhibit</i>	6/10-6/15	<i>Philadelphia</i>	202 265 9317
<i>American Library Ass. Book Exhibit</i>	7/6-7/13	<i>Chicago</i>	312 280 3256
<i>Australian Book Fair</i>	6/14-6/16	<i>Sydney</i>	2 9 281 1073
<i>International Book Fair, Beijing</i>	8/30-9/4	<i>Beijing</i>	10 65063101
<i>Moscow International Book Fair</i>	9/5-9/10	<i>Moscow</i>	095 973 2132
<i>Liber/International Book Fair Spain</i>	10/3-10/7	<i>Barcelona</i>	1 7225788
<i>Frankfurt Book Fair (52nd)</i>	10/18-10/23	<i>Frankfurt</i>	69 2102227
<i>Salon du Livre Montreal</i>	11/16-11/21	<i>Montreal</i>	514 45 7119
<i>CIROBE 2000</i>	11/3-11/5	<i>Chicago</i>	773 955 2967

1900年代最後の号になりました。1967年5月発刊以来、休まず刊行を続けられましたことはひとえに皆様のご支援とご協力の賜物と深く感謝いたします。2000年を迎えるにあたり、“皆様のための会報”づくりに一層の努力を傾ける所存ですので、引き続きご愛読のほどお願い申し上げます。 [会報委員会]

よいお年をお迎えください

改訂第3版 ドゥデン・ドイツ語大辞典 全10巻

DUDEN-Das große Wörterbuch der deutschen Sprache in 10 Bänden



1999年10月出版予定

セット特價¥82,000

(特價期限以降¥92,000)

サイズ 17.4×24.6cm

約4,800ページ

ハードカバー

収録見出し 200,000項目以上

ISBN 3-411-04733-X

◎特價は2000年1月31日まで有効です。

改訂第7版

マイヤーズ・グロス タッシェン・レキシコン (CD-ROM付) 全25巻

Meyers großes Taschenlexikon in 25 Bänden

12.5×19.4cm ケース入り 150,000項目 8,100ページ(各巻324ページ)

ISBN 3-411-11007-4

予価¥23,900

BIBLIOGRAPHISCHES INSTITUTE (MEYERS LEXIKONVERLAG/DUDENVERLAG)

日本総代理店

日本出版貿易株式会社

本社 〒101-0064 東京都千代田区猿樂町1-2-1

TEL 03-3292-3755 FAX 03-3252-8766

大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島3丁目5-2 新居第10ビル

TEL 06-6886-7177 FAX 06-6886-7166

九州営業所 〒812-0054 福岡市東区馬出5丁目40番11号 前田ビル

TEL 092-651-3785 FAX 092-651-1191

1999年12月

通巻第391号

日本洋書協会

編集者 高橋 紘

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-21-4 千代田会館5階20号室

☎(03)3271-6901 FAX.(03)3271-6920

印刷所=藤本総合印刷株式会社